

【環境審議会】会議概要（案）

会 議 名	令和3年度第5回環境審議会				
事 務 局	環境部長・須藤 純二、環境政策課長・加藤 鉄也、 足立清掃事務所長・山本 克広				
開催年月日	令和4年2月15日（火）				
開催時間	15時00分から16時30分まで				
開催場所	足立区役所8階庁議室				
出席者 ※：オンライン参加	※田中 充	※百田 真史	ぬかが 和子	高山のぶゆき	いいくら昭二
	※土屋のりこ	※佐藤 強士	※茂木 福美	※中村 重男	※植村 公彦
	田島 のぞみ	工藤 信			
欠 席 者	水川 薫子		大峽 廣男		小泉 俊夫
会議次第	別紙のとおり				
資 料	・令和3年度第5回足立区環境審議会資料				
そ の 他					

(加藤鉄也 環境政策課長)

時間になりました。第5回足立区環境審議会を始めさせていただきます。

私、環境政策課長の加藤と申します。よろしくお願ひします。

今回任期満了に伴う委員の変更がございましたので、会長が決まるまでの間、事務局である環境政策課の私加藤が進行させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

会議に先立ちまして、事務局からお知らせがございます。今回も昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として、会場とオンラインの併用で会議を開催します。ご発言の際は、ゆっくりはっきりを意識していただきますよう、ご協力お願ひいたします。

それでは定刻となりましたので、ただいまから令和3年度第5回足立区環境審議会を開催いたします。

始めに、本日のご出席人数を報告させていただきます。委員定数15名のところ、オンラインでの出席7名、会場での出席5名、合計12名ですので本日の環境審議会は成立していることをご報告させていただきます。

続いて、本審議会の公開非公開に関してでございますが、足立区環境審議会の設置及び運営に関する指針において、個人に関する情報等、公にすることが不適当なものを除き、審議会の会議は公開にするものとされております。その他審議会において、公にするべきではないと認められる情報があれば、審議会の決定により非公開とすることができます。今回の審議会では傍聴の方がいらっしゃいます。会議全体、個別案件について、非公開にすべき事項があるとお考えの委員の

方がいらっしゃいましたら、ご意見をいただきたいのですが、いかがでしょうか。無いようですので、本審議会は全て公開とさせていただきます。では傍聴人にお入りいただきますが、今回は新型コロナウイルス感染症対策の観点により、会場ではなくオンラインで傍聴していただくことといたします。

また議事録については、出席委員名、発言者、発言内容を公開することをご報告させていただきます。

それでは次第1、委嘱状の交付に移ります。本日は任期の異なる区議会選出の委員を除き、学識経験者、事業者、区民の委員への交付となります。本来であれば近藤区長から直接交付するところではございますが、今回は感染症対策の観点により、郵送により対応させていただきました。

それでは私から、今回委嘱する委員のお名前をお呼びいたします。

<委員氏名読み上げ>

それでは環境審議会の委員でもある工藤副区長より、一言ご挨拶させていただきます。

(工藤信 委員)

皆様こんにちは、副区長の工藤でございます。

今日から新しい任期ということですが、実は環境基本計画の最終の意見交換をいただく審議会でございます。新しい委員の皆様には、なかなかこれまでの経過が分かりにくい部分もあると思いますが、分かりにくいところはお質問いただいで、今日ご議論いただいた内容で区長に答申いただきたいと考えております。

今回は新しい委員の方が3名ということで、足立区工業会連合会の大峽廣男

様、区民公募の植村公彦様、田島のぞみ様、よろしくお願いいたします。

これまでも足立区の環境審議会はどなたでも自由に発言ができる形で活発に議論しておりますので、ご遠慮なく発言をいただければありがたく思います。

今回の環境基本計画ですが、国の政策、あるいは都の方針等も踏まえて、CO₂排出削減、地球温暖化対策に対して目標を明確に示しております。そういった観点からもご議論いただければありがたく思います。よろしくお願いいたします。以上でございます。

(加藤鉄也 環境政策課長)

ありがとうございました。

それでは次第の2に移らせていただきます。新たな体制になりましたので、委員の皆様簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。次第裏面の名簿の順に私からお名前をお呼びいたします。一言ずつお願いいたします。

始めに学識経験者の委員をご紹介します。法政大学社会学部教授田中充様。

(田中充 委員)

田中でございます。足立区環境審議会には、引き続き参加させていただくことになります。よろしくお願いいたします。足立区の皆様には、大変熱心にご議論いただいております、私も勉強をさせていただくことが多くございます。また今期も参加させていただくことになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして東京電機大学未来科学部建築学科教授、百田真史様お願いいたします。

(百田真史 委員)

皆様、こんにちは。東京電機大学の百田と申します。私も昨年から引き続きの参加ということで、皆様活発な議論をいただいております、私も非常に勉強になっております。

専門は建築物の省エネルギーですが、幅広く審議していただく場として、大変参考になっております。今期も引き続きよろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして東京農工大学農学研究院、水川薫子様は本日ご欠席でございます。

次に区議会から選出いただいた委員を紹介いたします。ぬかが和子委員。

(ぬかが和子 委員)

ぬかがです。引き続き環境審議会の委員をさせていただくことになりました。気候危機の問題というのは、全ての施策のベースになる大事な課題だと思っていますので、ここで学ぶことも多いですが、より良い足立区のプランになるように、皆様と一緒に力を合わせていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして高山のぶゆき委員、よろしくお願いいたします。

(高山のぶゆき 委員)

高山のぶゆきでございます。日頃から皆様方に大変勉強させていただいております。今後とも一生懸命勉強したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして、いいくら昭二委員。

(いいくら昭二 委員)

区議会議員のいいくらでございます。

先ほどもお話がございましたように、環境対策というものは、喫緊の課題でございます。真剣に取り組んで区民の皆様にとって本当に良いものを作っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続いて、土屋のりこ委員お願いいたします。

(土屋のりこ 委員)

大学生時代に環境社会学を勉強していたことがあり、今二期目の環境審議会委員を務めさせていただく中で、フレッシュな情報をいただいたり、懐かしいと思うこともありながら委員をやらせていただいています。

有意義な政策を皆様と共に作れればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして事業者の委員をご紹介します。

足立区工業会連合会推薦の大峽廣男様及び、東京商工会議所足立支部推薦の小泉俊夫様は、本日ご欠席です。

続きまして、団体推薦の区民委員をご紹介します。

足立区町会・自治会連合会推薦、佐藤強士委員よろしくお願いいたします。

(佐藤強士 委員)

佐藤でございます。また去年に引き続き参加させていただきますが、幅広い分野で勉強もさせていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして、足立区女性団体連合会推薦の茂木福美委員お願いいたします。

(茂木福美 委員)

茂木福美でございます。引き続きまして、今回も委員をさせていただきます。

毎回とても勉強になる審議会です。どうぞ今期もよろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

次に公募による区民委員の方々をご紹介します。

中村重男委員、よろしくお願いいたします。

(中村重男 委員)

中村です。よろしくお願いいたします。区民の立場から環境問題につきまして、引き続き意見を述べさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

続きまして植村公彦委員、よろしくお願いいたします。

(植村公彦 委員)

こんにちは。初めて環境審議会に参加させていただきます、植村と申します。区民の立場からの発言ということで、普段は会社員として、また弁護士として働いており、この分野については知らないことも多いのですが、区民として意見させていただけるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしくお願いいたします。

田島のぞみ委員、よろしくお願いいたします。

(田島のぞみ 委員)

初めて環境審議会に参加させていただきます、田島のぞみと申します。昨年一年間、あだち環境ゼミナールで勉強させていただきました。今4歳と1歳の子どもの母で、子育て世代の代表として色々環境問題を勉強させていただき、自分の意見も伝えていければと思っています。食品業界で働いていたこともあり、フードロスなどにすごく興味があります。よろしく願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

よろしく願いいたします。

委員の皆様、ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

続いて、事務局として出席しております、環境部の管理職をご紹介させていただきます。

(須藤純二 環境部長)

環境部長の須藤と申します。引き続きよろしく願いいたします。

新しい委員の皆様もご協力よろしく願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

続きまして、私環境政策課長とごみ減量推進課長を兼務しております加藤と申します。よろしく願いいたします。

(山本克広 足立清掃事務所長)

皆様、こんにちは。足立清掃事務所長の山本でございます。

引き続きどうぞよろしく願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

続きまして、生活環境保全課長、志田野という者がおりますが、本日欠席させていただきます。申し訳ございません。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

続いて次第の3、配布資料の確認をさ

せていただきます。

事前に皆様にお送りした資料は、本日の次第、裏面が委員名簿となっております。続きまして令和3年度第5回環境審議会資料、別紙環境基本計画(案)でございます。

令和3年度第5回足立区環境審議会資料の中で、2点修正がございます。すでに委員の皆様には、データもしくは紙ベースで差し替え資料をお送りしておりますが、ここで再度ご確認いただければと思います。共有画面も併せてご覧ください。まずは4頁になります。パブリックコメントに寄せられたご意見、8番から10番に対しての区の考え方の部分です。二酸化炭素排出削減目標に関しての、区の考え方を修正しています。次に7頁から8頁にかけてですが、同じくパブリックコメントで寄せられたご意見で、18番のZEBに関する区の考え方を修正しております。資料の確認は以上となります。

続きまして、本日の進め方についてです。これから選任いたします会長の進行により、ご意見やご質問がある場合は、オンラインの方は挙手ボタンを、または画面に向かって分かるように挙手をしてください。会場の委員の方は挙手をお願いいたします。事務局で挙手されている方を会長にお伝えしますので、会長の指名により、お一人ずつご意見、ご質問等をお願いいたします。その後、委員からのご意見、ご質問が揃ったところで、会長の進行により事務局からお答えいたします。進め方の説明は以上でございます。

続きまして、次第の4、会長の選出に進みます。お手元にお配りした、次第の裏面をご覧ください。環境審議会規則第

3条第2項に記載の通り、会長は審議会を代表し、会務を総理することが定められております。会長の選任は、前条第1項第4号、すなわち学識経験者の委員の中から委員の互選により定めることとなっております。学識経験者の委員は、田中委員、百田委員、水川委員のお三方ですが、いかがでしょうか。

(百田真史 委員)

百田です。よろしいでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

はい、お願いします。

(百田真史 委員)

田中委員を会長に推薦させていただきます。

(加藤鉄也 環境政策課長)

ただいま、田中委員のご推薦がありましたが、委員の皆様いかがでしょうか。

<異議なし>

異議なしとのお声をいただきました。

それでは田中委員を会長に選任いたしましたので、田中会長からご挨拶をよろしくお願いいたします。

(田中充 会長)

ただいま、皆様の互選により会長を務めることとなりました、田中充でございます。

法政大学社会学部で教鞭を執っており、私事となりますがこの3月で現在の職場を退職となります。先日こちらの足立区環境審議会の皆様には、私の記念講演会にご参加いただきまして、お礼を申し上げます。長い時間に亘り、ご参加いただきありがとうございます。

環境審議会につきましては、冒頭の副区長からのご挨拶でもありましたが、大変活発に委員の皆様からご意見、ご発言

をいただいております、その中で区の環境政策の在り方について率直な意見交換をして方向性が見えてくる、こういう審議会でございます。

今期もぜひ皆様のご協力により、円滑に、また実りある内容にしていきたくと思いますので、どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

ありがとうございました。会長が決定いたしましたので、この後の進行は田中会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(田中充 会長)

わかりました。それでは皆様、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

続きまして次第の5、副会長の選任ということになります。副会長は、会長を補佐し、または会長に事故あるときにはその職務を代理する、ということございまして、委員の中から会長が指名をすると規定されております。従いまして大変恐縮ではございますが、私の方から副会長の指名をさせていただきたいと思っております。ここは、ぜひ百田委員に引き続き副会長をお願いしたいと思います。

百田先生よろしくお願いいたします。

(百田真史 委員)

謹んでお受けさせていただきます。よろしく申し上げます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。続きまして、次第6、議事録署名人の指名をさせていただきます。

審議会につきましては、必ず議事録を作成し、その内容について確認、担保するための署名人という仕組みがございます。二名ございますが、本日の議事録署

名人につきましては、高山委員と土屋委員にお願いしたいと思っております。どうぞ兩名、よろしくお願いいたします。

それでは審議に移らせていただきます。審議事項でございますが、「環境基本計画案の見直しについて」という内容でございます。それではこの審議内容につきまして、資料説明を事務局からお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

それでは事務局から説明をさせていただきます。

今回初めての審議会ご出席となる委員の方もいらっしゃいますので、簡単にこれまでの経緯をご説明させていただきます。令和元年11月に、第三次足立区環境基本計画の見直しについて、区から環境審議会に諮問をいたしました。以降、今回の審議会に至るまで、指標や目標値を始め、その他細かな部分まで委員の皆様にご審議いただき、令和3年度中に答申をいただく予定となっております。令和3年度の審議会は、今回で最後となります。環境基本計画の見直しについては、今回の審議会のご意見を反映させた最終案のご確認を、田中会長にご一任いただき、取りまとめたいと考えております。答申の内容を確定させ、田中会長から区長へ答申をいただく予定でございます。

それでは審議資料をご覧ください。1頁目でございます。「環境基本計画の見直しについて」区民の方々の意見を聞くために、パブリックコメントを実施いたしました。1—(1)、実施期間は、令和3年12月13日から令和4年1月11日まででございます。公表方法といたしましては、区ホームページへの掲載、

SNSによる周知、あだち広報への掲載、環境政策課、政策経営課、区政情報室等で、書類を配布いたしました。

実施結果でございますが、意見を提出していただいた方および団体数が13人と1団体。いただいたご意見は全部で40件でございます。

寄せられた意見と区の考え方については、2頁から14頁に記載しておりますので、詳細な説明は省略させていただきます。

項番2でございます。パブリックコメント実施前に委員の皆様へ送付した環境基本計画見直し案からの変更点を、一覧にして15頁から17頁に掲載しております。15頁の項番1、別紙環境基本計画案の5頁になりますが、COP26についての記載を追記するようというご指摘がありましたので、追記させていただきました。

続きまして、別紙の31頁でございます。これは足立区全体の太陽光発電システム導入容量の実績値が更新されましたので、数字を更新させていただきました。

続きまして、43頁です。食品ロスについて、区民一人あたりや一事業所あたりの量を記載することで、どれだけ食品ロスが発生しているかイメージしやすいようというご意見を受けました。今回茶碗一杯に換算すると何杯分という例で、数値に換算して表記を変えております。

続きまして、43頁、44頁の食品ロスに関するアンケート結果についてです。以前審議会でご指摘をいただき、分類を「学校・官公庁」で165者としていましたが、「学校」と「官公庁」は性格が違

うため、学校 125 者、官公庁 40 者に区分を直ささせていただきました。これに伴い、大規模事業者の食品ロス推計値が若干動きましたので、訂正しております。

続きまして、48 頁をご覧ください。こちらは施策の具体的な取組み、「防災備蓄食品の積極的な有効活用」についてです。所管課より食品に限らず、おむつや生理用品等の物品も対象とすべきとの提案を受け、修正させていただきました。赤い囲みの通りでございます。具体的には食品だけでなく、物品という言葉を追記させていただきました。

続きまして、95 頁です。以前の「環境に配慮して行動する」のイラストが、粗大ごみや家電を直接清掃工場に持ち込めるという誤解を招くのでは、とのご指摘を受けました。今回は「産業廃棄物処理施設」とわかるようにイラストを修正いたしました。もう一つ同じところで、「ワンウェイプラスチック」という表記が分かりにくいというご指摘を受けまして、「使い捨てプラスチック」という表記に修正をさせていただいております。

続きまして、96 頁です。こちらにもイラスト入りの指針で「ワンウェイプラスチックの削減に努める」を「プラスチック製品の使用を控える」という表現に修正をしております。簡単ではございますが、私からの説明は以上でございます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

パブリックコメントに対して多くの皆様から 40 件のご意見をいただいたということでございます。いただいたご意見への対応につきましては、資料にまとめてあり、それを受けて一部計画案の修正を行っていくという説明であったかと思

います。

それでは事務局の説明は要点だけになっておりますので、パブリックコメントの取り扱いも含めて、ご意見がありましたらお出しいただきたいと思っております。まずオンラインの委員の皆様から、ご意見やご質問がありましたら、挙手をしていただくか、画面で顔を出していただければと思います。植村委員どうぞお願いいたします。

(植村公彦 委員)

ご説明ありがとうございました。私は今回から参加させていただきますが、計画が非常によくできていらっしゃるの、ぜひ一緒に考えたいと思ったことがここに参加した理由のひとつです。パブリックコメントの中でも建設的な提案も色々ありましたし、非常によかったと思います。一つ懸念しているところが、家庭用の電気を、できるだけ CO₂ を排出しない電源に変えていくことが、家庭の CO₂ 削減に一番効果があると思うので、その部分をもう少し踏み込んで一緒に考えていけたらと思っておりました。東京都で実施している「みんな電力」なども含めた、家庭への普及啓発が必要だと思っています。よろしく申し上げます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。家庭用電気の対策についてですね。後ほど事務局からお答えをいただきたいと思っております。

オンラインの委員は他によろしいでしょうか。また後でも気が付きましたら挙手いただいても結構でございます。それでは会場の委員の皆様、いかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

いいくら委員が挙手されています。

(田中充 会長)

それでは委員、どうぞよろしくお願ひいたします。

(いいくら昭二 委員)

よろしくお願ひいたします。

パブリックコメントで40件の意見があったということで、内容を読ませていただきました。今後しっかりこの基本計画に反映していただきたいものもあると感じています。パブリックコメントの貴重な意見をどのような形でこの基本計画、またはそれに準ずるものに反映していくのか、その点について質問いたします。

(田中充 会長)

パブリックコメントの意見の反映の仕方がどうなっているかというご発言だったかと思ひます。これも事務局の方で後ほど、ご説明をいただきたいと思ひます。他に会場の方はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

ぬかが委員が挙手されています。

(田中充 会長)

ぬかが委員、よろしくお願ひいたします。

(ぬかが和子 委員)

私もパブリックコメントに寄せられた意見についてです。

一つは一番目の意見についてです。足立区が二酸化炭素排出実質ゼロ宣言をしたことが知られていないので、もっと目に触れるような機会を作ってほしいというご意見です。これに対して、区の回答が一般的な周知活動についてはされていますが、この意見というのはいささか宣言したのに知られていないのもっとPRしてほしいというシンプルなものに見えます。第三次足立区環境基本計画そ

のものへ反映するかどうかは別ですが、施策に反映をしていただきたいと思ひます。本当であれば回答としても、一般的な周知強化だけではなく、宣言をしたことが知られるように取り組んでいきますとなれば、意見を出した方も自分の意見を受け止めてくれたと感じるのではないかと思ひます。それが一点です。

もう一点は、8番、9番、10番についてです。二酸化炭素削減の目標値について、地球の温度上昇を1.5度未満に抑えるという世界共通の目標に整合した目標に設定してほしいので、鉄鋼産業を抱える自治体と比べると、足立区はもっと大きな目標が必要ではないかという意見です。私も本当にその通りだと思ひます。計画の中での取り扱いは会長にお任せしたいと思ひているのですが、思ひのほかこういう意見も出ているので、せつかく前向きな区民の方々からの意見を受け止めて対応していただけたらと思ひます。以上2点です。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

パブリックコメントのゼロ宣言の周知について、もう少し前向きに行っていく必要があるのと、回答の趣旨が違わないか、ということも含めてご指摘をいただきました。

二点目は削減目標の関係で、パブリックコメントの8番、9番、10番でご意見をいただいておりますが、ぜひ区民の意見を尊重する形で対策の強化に取り組んでほしいと、そんなご指摘かと理解いたしました。

ではひとまずここまで3人からご意見をいただきました。事務局から回答をお願ひしたいと思ひます。

(加藤鉄也 環境政策課長)

事務局でございます。

まず一点目の、家庭のCO₂排出削減に向けた電気の転換について、ご説明させていただきます。

(井越昭久 環境政策課計画推進係長)

家庭の電気使用に伴うCO₂削減の具体的な策を、計画に記載してはどうかというお話があったと思います。報告事項1で少し記載しているのですが、CO₂ゼロ宣言を実現していくために、まずは2030年までの具体的な取組みや工程をまとめたロードマップを、令和4年度に策定したいと考えていますので、具体的な家庭での電気使用削減の支援策や周知については、そこで改めて示していきたいと考えております。現状、計画の中には、もう少し大きな内容で取組みについて記載してはいるのですが、具体的な取組みに関してはロードマップで示していきたいと考えております。以上です。

(加藤鉄也 環境政策課長)

少し補足させていただきます。先ほど委員がおっしゃったように、家庭のCO₂排出の中で電気を再エネ100%のものに転換していくことは、非常に有効だと事務局でも考えております。先ほど説明があったように、ロードマップで具体策を示していくことは当然あるのですが、今、再エネ100%の電気に切り替えていただいた区民の方に、協力金をお支払いする制度を検討しており、区としても切り替えが進むよう考えているところでございます。

(須藤純二 環境部長)

これから、来年度予算の審議に入るわけですが、来年度に向けて新たに、再エネ100%の電力を契約、切り替えていた

だいたの方に、1年間で2万円の協力金を支払うことを予算案として提示しています。2年間お支払いするものですが、まず再エネ100%電力を区民の方々に知っていただくきっかけにしたい、そして再エネ100%電力をどの自治体よりも早く家庭に普及したいという思いを込めて、新たな制度を作っているところです。これからの審議で予算が通れば、開始時期は検討中ですが、来年度この制度を始めたいと思います。

また、これまでは、家電の買い換えに対して区から補助金を出していましたが、今は東京都でエアコンや冷蔵庫の買い替えに対する補助があります。そういったものも含めて、区からもPRをして、省エネ性能の高い機器への買い換えも進めていけるよう、努力していきたいと思います。私からは以上です。

(加藤鉄也 環境政策課長)

続きまして、パブリックコメントでいただいた意見の、計画への反映について説明させていただきます。

(井越昭久 環境政策課計画推進係長)

今回のパブリックコメントでいただいた意見の多くは、具体的な施策、こういうことをやってほしいというご要望が多くありました。これに関しては、環境部だけではできないものも多数ありますので、関係所管と協力し、区全体で施策を実現できるように進めていきたいと考えております。以上です。

(加藤鉄也 環境政策課長)

続きまして、二酸化炭素排出実質ゼロ宣言のPRについてのご指摘ですが、我々もPR不足は感じております。大きなイベントは当然必要ですが、そうではなく、スーパーマーケットなどの区民に

身近なよく行く場所で、この宣言についてPRしていくことも非常に重要だと思っておりますので、来年度はさらにしっかりとPRをしていきたいと考えております。

もう一つ、二酸化炭素削減の目標値や、1.5度目標へのご指摘についてです。我々としてもただ国に合わせたというわけではなく、前倒しできるものはしっかりと取り組んで、電力の切り替えなど色々な具体的な施策の中で、46%以上、さらなる高みを目指していきたいと考えております。事務局としては以上です。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

それでは回答をいただきましたが、事務局回答に対する再質疑も含めて、どうぞ委員の方からご意見がありましたらお願いしたいと思います。まずオンラインの委員の方でいかがでしょうか。植村委員、お願いします。

(植村公彦 委員)

丁寧なご回答をありがとうございました。ぜひ進めていただけたらありがたいと思いますし、今後のやるべきことについてもお話を伺って、自分なりに意見をもっていければと思いました。

一つご相談ですが、こういった制度を進めていくときに外国人の方向けの周知がどのようにされているかが気になります。特に行政的な手続きや電力の切り替えなどは、外国人の方は非常に難しいのではないかと思います。そういう方向けの説明や翻訳はどのようにされているのか、という点が気になりましたのでお伝えさせていただきます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

他の委員はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

いいくら委員が挙手されています。

(田中充 会長)

いいくら委員、どうぞよろしくお願いたします。

(いいくら昭二 委員)

ご回答ありがとうございます。

二酸化炭素排出実質ゼロということについて、区民の方もパブリックコメントでこのように強く気持ちをお持ちになっているということ、基本計画の中に入れてはどうかと思いました。特に二酸化炭素排出実質ゼロは基本的なところになりますので、基本計画の中で、区民の声を反映してもらえたらなと感じました。

(田中充 会長)

はい、ありがとうございました。他の会場の方の委員はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

ぬかが委員が挙手されています。

(田中充 会長)

ぬかが委員、よろしくお願いたします。

(ぬかが和子 委員)

私たちも「みい電」や再生可能エネルギー100%由来の電力をなるべく普及したいと思い活動をしてきましたが、新年度は新しい制度で区民を応援して補助金まで出そうとしているのにも関わらず、計画の中にそのことが一言も入っていないのはどうかと思いました。36、37頁辺りが「再生可能エネルギーの利用拡大」について記載していますので、今後率先して実際に取り組んでいくわけなので、一行くらい入れるべきではないかと思っております。ぜひよろしくお願いたします。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

いいくら委員からも、ぬかが委員からも、区民から出されたご意見を、うまく計画の中に取り込んでほしいというご趣旨のご発言だったかと思えます。特に来年度以降は、新たな支援制度の開始を予定しているというご説明もありましたので、そういった点を踏まえれば、もう少し踏み込んだ書きぶりがあってもよろしいのではないかと、という点が、委員からの最後のご発言の趣旨だったかと思えます。

今のことについて、事務局いかがでしょうか。

(工藤信 委員)

いただいたご意見に改めて3点ほど回答させていただきます。

最初は植村委員からいただいた家庭のCO₂削減についてですが、新制度について議会の審議前なのでまだ計画に書いていないのですが、あまり具体的にではなく、家庭のCO₂削減のために制度を考え推進していくというような表現で、家庭のCO₂削減の強化について入れさせていただきたいと思えます。

次に、いいくら委員からはパブリックコメントの意見の概要と区の考え方について、計画に反映してはどうかというご意見をいただきましたので、計画の最後に附属資料としていただいた意見を載せることも考えていきたいと思えます。

ぬかが委員からのゼロ宣言のPRに関するご意見については、せっかく家庭の再エネ電力への切り替えに補助を出す予定ですので、周知のチラシを作成する際にタイトルを「CO₂実質ゼロに向けて」として作成するなど考えていきたいと思えます。

それと一点、多言語化の話です。今もホームページを多言語化しているのですが、今度リニューアルする予定です。その際にはより分かりやすく、多言語化できるようにしたいと思います。私からは以上です。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

事務局の方はよろしいでしょうか。それではオンラインの方の委員いかがでしょうか。中村委員、挙手されています。どうぞお願いいたします。

(中村重男 委員)

環境基本計画の個別具体的な意見ではないのですが、足立区としての行動指針の具体的な推進にあたって、環境部単独でできる施策と、関係所管と連携をしていかなければならない施策が混在しているかと思えますので、ぜひ関係所管がどこで、どういう協力をしていかなければいけないのかを洗い出ししていただいて、課題も含め認識しておく必要があるのではないかと思います。

それからもう一つ、この推進策につきましては、できる限り見える化をしていただいて、プロセスの検証データとして確認できるようにしていただければと思います。以上です。よろしく申し上げます。

(田中充 会長)

ありがとうございます。

施策の担当と連携する関係課をきちんと確認しておくこと、それから推進策についても着実な推進に向けて整理しておくこと、そういうご趣旨の発言だったかと思えます。

追加のコメントなりご意見がありましたら、お願いしたいと思います。佐藤委

員何かご発言がありますか。

(佐藤強士 委員)

感想になります。行動指針について区民や事業者、区とありますが、イラストも入り分かりやすいと思います。一般の方への普及にも活用できるのではと思っています。

そして少し外れますが、67頁にクビアカツヤカミキリについて書いてありますが、このことについて、すでに載せているかもしれませんが広報に載せたら良いのではないかと思います。

(田中充 会長)

わかりました。クビアカツヤカミキリについて、一般的な話として特に分かりやすく、区民に普及できるような方策ということで、ご意見をいただいたかと思えます。

それでは今日出た意見についてですが、各委員のご意見の趣旨を踏まえながら、私でも再整理をさせていただきたいと思えます。ここから先のまとめ方ですが、委員には大変恐縮ですが、会長にご一任いただきまして、最終的な取りまとめについては、私と事務局の方で進めさせていただきたいと思えますが、いかがでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。

一点、追加で申し上げますと、パブリックコメントの意見は、計画文言に反映できる意見、あるいは今後反映していく意見、また個別の施策・事業の中で取り組んでいくものなど多々あったかと思えます。従いまして、計画に反映することももちろん大事ですが、個別の施策・事業の中に随時取り組めるものは取り組んでいただくという対応も大事だと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

それでは皆様よろしいでしょうか。計画の内容についてはおおよそ固まってきておりますので、今日のご意見を踏まえて調整させていただいて、計画案として取りまとめることにしたいと思います。この後は答申という手続きに入りますが、タイミングはどのようになりますでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

答申のタイミングにつきましては、これから内容の整理等をしまして、3月の中旬までには行いたいと考えています。

あともう一点、中村委員と佐藤委員からのご意見について補足させていただきます。

(須藤純二 環境部長)

まず中村委員からご意見があった、関係所管との連携等々についてです。後ほどご説明しますが、来年度作成予定のロードマップでは、各部の役割と連携について示していきたいと考えております。

成果の見える化と、PDCAを検証できるようにという話ですが、これまでは施策の数値目標に対する現状の数値のみを環境審議会でご説明し、それが何を実施したことによってそうなったかという具体的な説明はしていませんでした。今度は、その数値目標に対して、何を実施したことにより数値が変化したのかということ、より見える化してしっかり皆様にお示しし、施策の展開につなげていきたいと考えております。

佐藤委員からイラストの件お褒めいただき、本当にありがとうございます。これにつきましては、来年度の予算にも計上しているところではありますが、区民の皆様により分かりやすく行動指針をお示しするために、イラストを用いた、冊

子ベースのチェックリストのようなものを作りたいと考えており、色々な普及啓発に活用していこうと思っております。

それから、クビアカツヤカミキリの件ですが、区では、花畑の桑袋の方で最初に発見されましたが、まだ草加の方では非常に多く見つかっていて、桜が実際に枯れてしまっている状況です。拡大を防止するためには、早期発見して、なるべく早めに駆除してしまうしかないので、これは広報でもお知らせしています。花畑の方が中心となっていますが、どこから出てくるかはわかりませんので、公共施設で見つかれば重点的に調べるなどの対策も打っていきます。しっかり広報に努めて、区民からの情報も入れて対応し、拡散しないようにしていきたいと思っております。これは本当に皆様方のご協力なしには進みませんので、ぜひともよろしくお願いいたします。私からは以上です。

(田中充 会長)

ありがとうございました。追加でいくつか前向きなご発言、あるいは方向性をご提示いただいたかと思えます。ありがとうございました。

それでは、この計画案につきましての審議はここまでにさせていただきたいと思えます。またお気づきの点がありましたら、最後にお伺いする時間を取りますので、そこでご発言をいただければと思います。先ほども申しましたように、この後の最終的な取りまとめは、私と事務局で整理させていただきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、報告事項へ移らせていただきます。4点ございますが、まず一点目は報告事項1「ロードマップ策定の進

め方」ということでございます。それでは報告事項1から順番に説明をしていた後、全体の質疑とさせていただきます。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

それでは報告事項のご説明をさせていただきます。報告事項1をご覧ください。「二酸化炭素排出実質ゼロに向けたロードマップ策定の進め方について」でございます。二酸化炭素排出実質ゼロに向けた施策等を具体的にして、工程をしっかりと作り、進捗も見える化していきたいというところで、令和4年度の予算のご審議をいただいた後にはなりますが、ロードマップを作りたいと考えております。この審議会の中でご意見をいただきながら進めていきたいと思えますので、簡単にご説明をさせていただきます。

項番の1「脱炭素ロードマップの記載内容について」ということで、2050年CO₂排出実質ゼロに向けて、重要なマイルストーンとして2030年があります。その中で削減目標の実現に向けて、脱炭素ロードマップを策定していきたいと考えております。事務局で作るだけではなく、区民の皆様や専門家の皆様にもご意見をいただきたいので、この環境審議会の場をお借りしてご確認いただき、ご意見を反映していければと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

進め方ですが、区が委託するコンサル事業者の提案を基にたたき台を作成いたします。その後、具体的な施策を検討するにあたり様々なステークホルダーとの連携や、専門家からのアドバイスもいた

だこうと考えており、さらに環境審議会でご意見をいただき反映させながら進めていきます。また、CO₂の削減は先ほどもご指摘いただきましたが、省エネと創エネに関する取組みは重要になってくると思いますので、区民や事業者の行動変容につながるような誘導施策は非常に重要と考えております。また、これは我々区だけではできませんので、国や都の施策等々もしっかり情報収集しながら進めていきたいと考えております。

こちら報告事項1でございます。続いてご説明させていただいてもよろしいでしょうか。

(田中充 会長)

続けてご説明をいただき、併せて最後の審議の際には、少し区切りながらお願いしたいと思います。

(加藤鉄也 環境政策課長)

続きまして、19頁「カーボン・オフセットの実施について」のご報告でございます。

区の事務事業において排出する二酸化炭素について、カーボン・オフセットを実施します。令和2年度中に、公用車200台の走行に伴い排出したCO₂297t分をオフセットいたします。

購入するクレジットに関しましては、魚沼市の魚沼わくわくの森プロジェクトで326万円分の購入を予定しております。魚沼市での森林整備の財源などに活用される予定でございます。購入予定時期は令和4年の2月でございます。

カーボン・オフセットについては、参考に書かせていただきましたが、自らがCO₂削減努力をしたうえで、どうしても削減できない部分をオフセットして相殺していくというものでございます。こち

らが報告事項2でございます。

続いて、21頁をご覧ください。清掃事務所より報告させていただきます。

(山本克広 足立清掃事務所長)

資料の21頁、報告事項3「足立区ごみ出しアプリの入れ替えについて」です。足立清掃事務所より報告させていただきます。

平成26年度に導入したスマートフォン用の足立区ごみ出しアプリが、都合によりサービスを終了します。令和4年3月で終了しますので、令和4年4月から新アプリに入れ替えさせていただきます。

内容といたしましては、1番(1)の基本機能をご覧ください。アのごみの分別辞典は、このごみは何ごみなのかなどを検索できる機能です。また、ウでは、登録した地域でごみの収集日が違うわけですが、それをご案内させていただきます。その他、エのとおり粗大ごみのウェブ申し込みがこちらででき、オのとおり何か急なお知らせがある時にはプッシュ通知でお知らせすることができます。画像のイメージがありますが、これはあくまでイメージです。

4月に新たなアプリを配信させていただきますので、よろしくお願いいたします。

22頁をご覧ください。先ほど申し上げました、ごみ分別辞典について、これは他区で実績のあるものを引用しておりますので、若干変わるかもしれませんがイメージです。

導入スケジュールについては、現在新しいアプリを開発しております。現在の利用者累積で34,000件程インストールいただいておりますが、現在の利用者の方に切り替わるというお知らせを行い、

新たにインストールしていただきまして、4月開始したいと考えております。説明は以上です。

(加藤鉄也 環境政策課長)

続きまして報告事項4のご説明をさせていただきます。23頁でございます。今年度は、年明けから新型コロナウイルス感染症の拡大状況が非常に厳しいものとなりまして、1月に予定していた環境部のイベントについて、残念ながら2つ中止いたしました。どのようなイベントを予定していたのかについて、情報提供させていただきます。

1つは「SDGs フェア&映画会」です。こちらは二酸化炭素排出実質ゼロ宣言についてのPRや、環境に関するクイズラリー、そして企業などにも出展いただいて開催する予定でした。映画会では、環境に関する映画、地球にやさしい生活やハッピーフィートなどを上映し、環境に関して考えるきっかけにいただければと考え、1月15・16日で開催を予定しておりましたが、中止となりました。

2つ目があだち環境かるた大会です。こちらは、読み札を区内の小学生から募集して、環境かるたを数年に一回更新して作っており、そのかるたを使って、各校の代表者が大会で競うというものです。非常に楽しみにしていた参加者方が多かったのですが、かるたということでどうしても密が避けられない、飛沫が飛びやすい等の理由で、参加者200名のところ、532名もご応募いただいたのですが、残念ながら中止という形を取らせていただきました。具体的には26頁に環境かるたの申込書、27頁にはルールなどを書かせていただいておりますので、

ぜひ参考にご覧いただければと思います。報告事項は以上でございます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

報告事項1のロードマップからカーボン・オフセット、ごみ出しアプリ、そしてイベントの中止ということで、4点のご報告をいただきました。

それでは、まず報告事項1のロードマップの策定につきまして、ご意見ご質問がありましたら、どうぞお出しいただきたいと思います。オンラインの委員または、会場の委員はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

会場は特にございません。

(田中充 会長)

わかりました。私の方からですが、ロードマップの策定は、作業期間としてはどのくらいになるのでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

策定期間は1年を目途にしておりますが、当然できるものは前倒しで取り組んでいく等、工夫していきたいと考えております。

(田中充 会長)

わかりました。

2030年までの具体的な施策や、あるいは工程を示すロードマップというものを作って、実質ゼロに向けた具体的な施策の強化等を図っていくことかと思えます。ぜひ積極的なご検討をお願いしたいと思いますし、こちらにも書いてありますが審議会にもご報告をいただくということでございますので、各委員からご意見をうかがう機会もあろうかと思えます。反映できる機会になるかと思えますので、よろしく願います。

続いてカーボン・オフセットについて

はいかがでしょうか。ご質問等ありますでしょうか。植村委員お願いいたします。

(植村公彦 委員)

感想に近いのですが、ハイブリッド自動車はもっと二酸化炭素削減に貢献していると思っていたのですが、資料を拝見する限りほとんど貢献がないように見えます。東京都や国でも、非ガソリンへ切り替えると言っていますが、非ガソリンでは全然二酸化炭素削減に貢献しないのではないかと不安を感じました。そういう意味ではカーボン・オフセットのようなことを進めていくしかないのかもしれないので、ぜひ進めていただけたらと思います。以上です。

(田中充 会長)

ご指摘の点について、資料の中に走行量があるとハイブリッド等の車種ごとのCO₂排出係数、排出効率が分かるかと思えます。台数だけだと少し分かりにくいところがあるかもしれません。

他にいかがでしょうか。会場の方の委員はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

田島委員が挙手されています。

(田中充 会長)

では、田島委員お願いいたします。

(田島のぞみ 委員)

カーボン・オフセットについてすごくいい事業だと思ったのですが、私は初めて知りました。周知は区民にされているのでしょうか。魚沼市の森林整備の財源として活用されると書いてありますが、どのようなことに活用されたのかという写真があると、もっと具体性があったいいと思います。以上です。

(田中充 会長)

わかりました。ありがとうございます。他の委員はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

いくら委員が挙手されています。

(田中充 会長)

どうぞ、よろしくお願いいたします。

(いいくら昭二 委員)

今の意見と近いのですが、20 頁を見ていただきますと「過去5年のカーボン・オフセットの実績」について記載されていますが、せっかくやっているのになかなか周知がされていません。今後ロードマップを作るということで、区が努力しているということを、過去の実績とあわせてPRしていただきたいと思っています。これは要望でございます。

(田中充 会長)

ありがとうございます。これまでの発言について回答をお願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

では事務局から回答させていただきます。

(須藤純二 環境部長)

カーボン・オフセットの周知について、なかなか皆様にご理解いただく機会がなく申し訳ないと思っています。これまでは環境フェアに出展していただいていた魚沼市のほか、秋田県の八峰町や新潟県の阿賀町、高知県からクレジットを調達し、環境フェアで排出するCO₂についてオフセットを行い、そのことについて展示を行っていました。また、清掃車にカーボン・オフセットを実施しましたという、マグネットシートを貼るといったことも実施してまいりました。今後PRの方法については考えてまいります。

カーボン・オフセット自体は我々がCO₂を一生懸命削減する努力をして、そ

れでもしきれなかったものをクレジットを買って穴埋めしていく、そういった事業ですので、本当にカーボン・オフセットを拡大することがいいことかという、どう判断するかということもあります。できる限りカーボン・オフセットに依存しないで、足立区内で完結できるような仕組みを作れば一番いいと思っております。

ただ、やはり我々だけでは難しいので、関係自治体とカーボン・オフセットだけではなく、他の環境面も含めて連携していければと思っております。

それからハイブリット自動車の話が植村委員から出ましたので、これも来年度の事業のPRになってしまうのですが、来年度、電気自動車の充電設備への補助金を新設したいということで予算要求をしています。ご家庭であれば普通充電器という少し充電に時間がかかるのですが、そこまで高くないものもございまして、補助金を活用して付けていただいで電気自動車を導入するきっかけになればと考えています。急速充電器のメニューなども用意していて、これは商業施設などの事業者向けになるかと思いますが、都や国の方の補助金もありますので、併せて使うことでかなり安価に設置できるような制度になると思います。まだ東京都や国からの内容がはっきり出ておりませんが、その辺も併せてPRをして、皆様方に電気自動車に切り替えてもらえるよう施策を進めていければと考えています。以上です。

(田中充 会長)

ありがとうございます。次に、報告事項3のごみ出しアプリについていかがでしょうか。お気付きの点がありました

ら、どうぞお願いしたいと思っております。

(加藤鉄也 環境政策課長)

会場からは特にありません。

(田中充 会長)

わかりました。

このアプリの入れ替えをしているということで、使い勝手の良いものになればいいかと思っております。先ほどもご意見ができましたが、言語を英語、中国語、韓国語にも対応するというので、もう少し工夫がされるかもしれませんが、できるだけ多くの区民の皆様に使っていただけるといいなと思っております。

最後に4番目でございますが、二つのイベントが中止になったというご報告がございました。何か意見がありましたらお願いしたいと思っております。

(加藤鉄也 環境政策課長)

いいくら委員が挙手されています。

(田中充 会長)

いいくら委員、お願いいたします。

(いいくら昭二 委員)

私から事務局の方に、ぜひこの審議会で、環境かるた大会とSDGsフェアが中止になったことを報告していただきたいとお話させていただきました。

あだち環境かるた大会は子どもたちが楽しみにしている中、2年連続中止となりました。将来の足立区を担う子どもたちをがっかりさせないようなフォローアップをしていただきたいと思います。コロナ禍ということは私も認識しているのですが、区として2年連続中止となってしまったことへのフォローを子どもたちにどう行うのか。200名の枠に532名の方々が応募してきているわけですから、来年はなんとかやっていただきたく思っています。その辺を事務局としてどのように

考えているのか、SDGs フェア映画会も踏まえた上でお答えいただきたいと思っております。

(田中充 会長)

ありがとうございました。イベントの継続、来年度の考え方ということでご意見をいただきました。他の委員はいかがでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

植村委員が挙手されています。

(田中充 会長)

植村委員、どうぞお願いいたします。

(植村公彦 委員)

今のご意見と似た意見です。私はPTAの副会長もさせていただいているのですが、昨今子ども相手の行事というのはコロナの影響でほとんどがやると言って中止するパターンが続いています。来年になればコロナが明けるから大丈夫、という保証はないので若干不安に考えています。ですので、このようなイベントがオンライン等の非接触型でも開催できるようにご検討いただけたらいいなと思っています。よろしく申し上げます。以上です。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

それでは、回答をお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

まず、いくら委員のご意見についてです。環境かるた大会に関して、2年連続で中止したことへのお子さん方へのフォロー、特に6年生などもうかるた大会へ参加できない方へのフォローについては、私どもも非常に心を痛めております。まず今回に関しては皆様に記念品の送付をしたという点が一点、ただ記念品をもらうためにやっているのではなく、

大会に出ることが大事だと思いますので、来年度に向けてもし開催ができれば中学生も招待できるようにしてあげたいということも考えております。

続いて植村委員のご意見についてですが、おっしゃる通りで、今コロナ禍の中で来年度コロナが明けてイベントが全て開催できるかについては、大きな疑問があります。オンラインへのシフトは非常に大切だと考えておまして、去年、荒川で生き物を探すイベントが中止になったのですが、実験的にスマホアプリを使った「バイオーム」というものを実施しました。近所の公園などで見つけた虫や花、鳥などの写真を撮っていただくと、名前や特徴が出てきます。こういったものを使って親子でオンラインでも楽しめるかということを実験的にやってみた結果、投稿が195件くらいありました。来年度も年2回くらい開催する予定ですので、コロナ禍でもこのような新しい取り組みを考えていこうと思っております。事務局からは以上でございます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

それでは、全体にわたって何か言い漏らした点、あるいは追加でご意見がありましたら、ご発言をお願いします。オンラインの方の委員はいかがでしょうか。茂木委員はいかがですか。

(茂木福美 委員)

区や区民の行動指針について、先ほど佐藤委員からもありましたが、イラストが見やすくとても分かりやすいと私も感じました。

その中でごみの集積場におけるカラスや猫の被害対策を深化するということを書かれているのですが、私が感じている

のは、集積場を今すぐ猫が散らかしているということです。防鳥ネットは強い生地なのに食いちぎられ、ボロボロになっており、清掃事務所に連絡したらすぐに新しいものを持ってきてくださいました。その時に感じたのは、猫が悪いのではなく、出す私たち区民一人ひとりの心掛けで、もう少し真ん中の方に置けば猫が散らかさないのではないかとということです。集積所のところに「ごみは中に入れましょう」と、書いたものを出していただけたらありがたいなと思います。私たちが皆様に注意するのはおこがましいので、そういったものがあればいいと感じました。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

他に、土屋委員いかがでしょうか。

(土屋のりこ 委員)

これまで意見を言ってきたものが、環境基本計画に反映されていて、いいものができたと思っています。作っただけでなく、これから実行するというところですので、どうブラッシュアップしていくか今後またぜひ意見を言わせてもらえればと思います。今のところの完成版を見てうれしいなという気持ちです。以上です。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

百田委員何かありますか。

(百田真史 委員)

基本計画について皆様のご協力を得て内容を練ってきましたが、今後実施計画は別に策定していくということです。皆様からも施策の前倒しなど意見をたくさんいただきましたので、実施計画の中に練りこんでいくところと、基本計画にい

れておくところをうまく整理していければと思っております。

まずは基本計画がひと段落といったところで、ご協力ありがとうございました。以上でございます。

(田中充 会長)

ありがとうございます。

会場の委員いかがでしょうか。何か追加があるようでしたらお願いしたいと思います。

(加藤鉄也 環境政策課長)

会場はございません。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

大変熱心にご意見をいただきました。ありがとうございました。私からも少し意見を申し上げたいと思います。

最後にご発言がありましたが、実施計画であるロードマップについては、期待するところが多くなるかと思えます。パブリックコメントでも温暖化対策の強化、削減目標の強化に向けて、区民の皆様からたくさんご意見をいただいております。ロードマップへの期待ですが、こういった施策を盛り込んで何を手順として実施するのか、具体的なインセンティブやあるいはそれを促進する仕組みをどう作るのかといったことを、ぜひ検討していただきたいと思えます。具体的な構成などはこれからだと思えますが、2030年までのロードマップであると同時に、場合によっては区内のある地域において具体的に展開できるような「ゼロエミッションエリア」モデル地区的な発想ですが、そういった発想も有力かと思えますので、どうぞこの後の検討の中で、工夫をいただければありがたいと思えます。

もう一点、環境基本計画の見直しにつきましては、審議会としては今日が一つの区切りとなります。いただいたご意見をもう一度整理いたしまして、計画の文言への反映などについて事務局と調整をしていきたいと思っております。できるだけ委員の意見、またパブリックコメントでいただいた区民の意見を幅広く反映できるような形で計画の内容に盛り込んでいきたいと考えております。調整については一任をいただきまして進めさせていただきたいと思っております。貴重なご意見をありがとうございました。

私からは以上でございますが、委員の方は何かありましたらご発言をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは今後の予定など、事務局よりご案内お願いいたします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

長時間ご審議いただきありがとうございました。まず本審議会をもちまして、第三次足立区環境基本計画の見直しに関する審議は終了させていただきます。今後、会長と事務局で今日いただいたご意見を調整し、新型コロナウイルス感染対策として審議会を代表して会長から区長へ、オンラインで答申をいただく予定でございます。

次回の環境審議会でございますが、6月6日月曜日、午後3時からの開催を予定しています。次回もオンラインを併用した形で開催する予定でございます。事務局からは以上でございます。

(田中充 会長)

ありがとうございました。

この後コロナが劇的に改善してくれば対面での答申ということもあるかと思っておりますが、今のところこの状況では厳しい

かもしれません。次回はもう少し先になりますが、6月に次の審議会が予定されていますので、ぜひご予定の程お願いしたいと思います。

それでは長時間にわたり熱心にご審議いただきありがとうございました。これもちまして、令和3年度第5回足立区環境審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上

(会議録署名)

令和3年度第5回環境審議会 会議録記録署名員
(令和4年2月15日 開催)

会 長	田 中 亮
署名委員	高山のぶみき
署名委員	土屋 ありこ